

# 伝承文化としての「中国女書」

## — 歴史的考察と課題 —

講師： ちょう れい めい 氏

(中国・清華大学 教授、中文系語言教研室主任)

日時：2012年 12月 11日 (火)

16:20~17:50 \*逐次通訳あり

場所：熊本学園大学 14号館 5階 第5会議室

**参加費無料**

中国では、女言葉の筆記バージョンとして漢字より派生した「女書」が古くから存在している。衣類に歌詞の文字を織り込んで贈り物にするなど、女性独特の伝承文化の一つとして受け継がれてきたが、現在その「女書」が絶滅の危機に瀕している。この「女書」とは本来どのようなものなのか、使用の目的や効果の紹介をはじめ歴史的存在意義などの考察について、この研究の第一人者である趙麗明氏に述べて頂く。また、その保護のため人類文明における課題として何ができるのかを探る。

### 《講師プロフィール》

略歴：1982年首都師範大学中文系（中国語学部）卒業・学士学位取得。1988年歴史学博士学位取得。1988年2月より清華大学就任、現在に至る。そのかたわら、中国民族古文字研究会副会長、北京語言学会副秘書長、中国訓詁学会常務理事、清華大学中国西南地区瀕危文化研究中心主任、中国女書研究専門委員会主任なども兼ねている。

主要著書：《中国西南瀕危文字図録》学苑出版社 2011.4、《古代漢語研読》編著 清華大学出版社 2008.10、

《女書読本》編著 湖南人民出版社 2008.6、《中国女書合集》(5巻本)編著 中華書局 2005.1、

《The Women's Script Jiangyong: An Invention of Chinese Women》, 《Holding Up Half the Sky》, The Feminist Press at The City University of New York, 2004 (共著) など多数。

★★

当日の直接参加も受け付けておりますが、資料の配布ができなくなる場合もございますので、参加ご希望の方は、事前に下記までご連絡くださいますようお願いいたします。

熊本学園大学 学術文化課  
〒862-8680 熊本市中央区大江 2-5-1

TEL 096-364-5161 (代表) 内線 1773・096-364-8728 (直通)  
FAX 096-364-5201 (直通)・Email kaigai@kumagaku.ac.jp